

次号
予告

特集

老年科

未曾有の超高齢社会を迎え、今後ますます高齢化率が高まることが確実視されている日本にあって、我々医療者も高齢者を診療する機会が急増しています。ホスピタリストの仕事のほとんどの部分を占めているといっても過言ではありません。そして、医療者であれば誰も「高齢者を大切にしたい」との思いをもって診療にあたっているものと想像しますが、ではどうすれば「高齢者を大切にすることになるのか？」この問いに答えることは容易ではありません。

本特集ではその問いに対する解を示すべく、まず、① 高齢者の生理学や病態、また医療システムについて説明し、日本における問題点を抽出します。そして、② 高齢者に対して総合的にアプローチするための具体的な評価方法 (CGA)、医療介入の限界とアドバンス・ケア・プランニングの重要性を提示し、③ CGAを用いながら、高齢者特有の症候である「老年症候群」について各論的にどうアプローチしていくかを解説します。最後に、④ 高齢者診療のアウトカムを最適化するための実践的な多職種連携 (チーム医療)、Transition of Careを提示します。

この1冊が、高齢者診療への困難に立ち向かうための、実践に直結した知識と診療技術を提供し、高齢者医療に携わるすべての医師およびメディカルスタッフのバイブルとなることを目指しています。

イントロダクション

1. 高齢者とは
2. 日本社会のなかの高齢者：超高齢社会における医師の果たすべき役割
3. 保険医療制度・介護保険制度
4. 介護施設・サービス

【コラム①】 Patient centered medical homeについて

アプローチ (Geriatric Medicine)

5. 高齢患者へのアプローチ
6. 高齢患者の急性期病態における治療指針決定のプロセス
7. アドバンス・ケア・プランニング

医療スタッフ全員の問題としての老年症候群 (Problem-Based Geriatric Medicine)

8. Geriatric FTT (もしくは廃用) へのアプローチ

【ミニコラム】 高齢者回診で心掛けたい10か条

【コラム②】 褥瘡

9. ポリファーマシーへのアプローチ

【コラム③】 尿管

10. 不安・不眠・不穏へのアプローチ

【コラム④】 認知機能障害

11. 栄養障害 (食べられない) へのアプローチ

【コラム⑤】 便秘

12. 転倒へのアプローチ

【コラム⑥】 疼痛ケア

【多職種座談会】 超高齢社会における急性期病院の役割

Transition of Care

13. 病院からの安全な退院

【コラム⑦】 在宅医、施設嘱託医の立場からの提言

【コラム⑧】 高齢者における予防医学

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

■ Vol.1 (2013年)

No.1 ホスピタリスト宣言

No.2 感染症

■ Vol.2 (2014年)

No.1 腎疾患

No.2 膠原病

No.3 消化管疾患

No.4 緩和ケア

■ Vol.3 (2015年)

No.1 呼吸器疾患1

No.2 外来における予防医療

No.3 循環器疾患1

No.4 血液疾患

■ Vol.4 (2016年)

No.1 代謝内分泌

No.2 周術期マネジメント

No.3 腫瘍

No.4 他科の知識1

■ Vol.5 (2017年)

No.1 神経内科

No.2 呼吸器疾患2

No.3 感染症2

No.4 老年科

■ Vol.6 (2018年)

No.1 腎疾患2

No.2 糖尿病

Hospitalistの編集会議は、創刊時より基本的にウェブ会議システムを使用しています。特に目新しいものではありませんが、慣れるまではトラブル続きで、セットアップで大慌てすることも少なくありませんでした。この数年でシステムや通信環境などがおそらく大きく進化したのでしょう。また使う側も慣れてきたこともあり、ストレスを感じるものが減ってきました。リアル会議との大きな違いは、ウェブ会議では場の空気に任せる、ということにあまり期待できない点です。特に使用機器の都合で、音声のみで参加の方がいる場合は注意が必要で、視覚的な情報の重要性を感じるときです。近頃は参加者間での画面共有機能も優れたものが登場しているようです。原稿の編集画面を共有して確認しながら進めることも経験しました。これは締め切り間際の執筆者に対する、新手の「カンヅメ」機能ではないかと思った次第です。さて本特集もエディターの先生方と頻りに会議を重ねて完成しました。現ジュネーブ在住の斎藤浩輝先生にも熱いディスカッションに加わっていただきましたこと、ここに御礼申し上げます。

● 広告一覧 医学書院…507, 508

南山堂…vi

日本医学新報社…580

羊土社…581

Vol.5 No.3 2017年9月1日発行 (年4回 (3, 6, 9, 12月1日) 発行)

Hospitalist

(1部) 定価：本体4,600円+税
2017年年間購読料：19,008円 (4冊, 税込, 送料弊社負担)

ISBN 978-4-89592-951-6

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話：編集部 03-5804-6056 FAX：編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL：http://www.medsci.co.jp Eメール：hospitalist@medsci.co.jp
振替：東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161
広告取扱 メディカルブレーション 電話03-3814-5980
日本医学広告社 電話03-5226-2791
文京メディカル 電話03-3817-8036
福田商店広告部 電話06-6231-2773



9784895929516

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】< (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物 > 本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (社) 出版者著作権管理機構 (電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。